

第5回定例記者懇談会 次第

日時：令和5年8月24日（木）午後3時30分～

場所：本庁舎 3階 会議室2

1 開 会

2 町長からの報告

- (1) 令和5年度9月補正予算概要について (資料1)
- (2) 令和4年度決算概要について (資料2)
- (3) 協働のまちづくり指針（仮称）の策定に向けた取組について (資料3)
- (4) 第3回山添町長とみんな・みらい・みえるトークについて (資料4)
- (5) 与謝野町インターンシップ「ヨサノクエスト」の実施について (資料5)
- (6) 【よさのみらい大学・リベラルアーツコース】第1回講座の開催について (資料6)
- (7) シーサイド・オレンジ・あそ合同イベントの開催について (資料7)
- (8) その他情報提供

3 閉 会

令和 5 年度 9 月補正予算案



与謝野町

令和5年度与謝野町9月補正予算（案）の概要

会 計		補正前予算額	補正予算額	補正後予算額	対前年度比	
					伸率	R4.9補正後
一般会計		千円 12,135,201	千円 74,255	千円 12,209,456	%	
	下水道特別会計	1,580,600	584	1,581,184	▲ 3.7	11,861,734
特別 会計	介護保険 特別会計 (事業勘定)	2,888,457	24,094	2,912,551	0.4	1,641,825
	後期高齢者医療 特別会計	366,600	4,018	370,618	▲ 0.3	2,902,290
	財産区特別会計	218,958	▲ 122,329	96,629	▲ 34.8	371,858
	特別会計合計	5,054,615	▲ 93,633	4,960,982	0.9	148,203
公営企 業会計	水道事業会計	1,203,499	9,501	1,213,000	▲ 20.9	4,915,973
合計		18,393,315	▲ 9,877	18,383,438	0.4	18,312,070

※水道事業会計の予算額は収益的支出と資本的支出の合計

【9月補正予算（案）の概要】

◆一般会計

物価高騰対策として、令和5年度1号補正予算で令和4年度支給対象者に積極給付を実施した子育て世帯生活支援特別給付金について、令和5年度に新たに対象となる方にも積極支給を実施するほか、新型コロナウイルスワクチン個別接種促進事業の実施、キッズステーションの拡充、有機物供給施設の修繕工事、災害復旧工事などの経費を計上するもの。

◆特別会計等

前年度事業実績による国府支出金の精算（介護特会）、施設の修繕や更新工事（水道事業、下水道特会）等を行うもの。

令和5年度一般会計歳入歳出補正予算【9月補正：第3号】

【歳入】

(単位：千円)

款	補正前額	今回補正額	補正後額	説明
1 町税	1,845,846		1,845,846	
2 地方譲与税	76,101		76,101	
3 利子割交付金	817		817	
4 配当割交付金	19,730		19,730	
5 株式等譲渡所得割交付金	12,902		12,902	
6 法人事業税交付金	48,239		48,239	
7 地方消費税交付金	509,285		509,285	
8 環境性能割交付金	11,108		11,108	
9 地方特例交付金	10,342	1,534	11,876	交付決定による増額
10 地方交付税	5,600,000	▲ 10,659	5,589,341	交付決定による減額
11 交通安全対策特別交付金	1,388		1,388	
12 分担金及び負担金	48,869		48,869	
13 使用料及び手数料	275,950		275,950	
14 国庫支出金	1,094,509	21,590	1,116,099	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 3,912 子育て世帯生活支援特別給付事業費補助金 4,000 出産・子育て応援交付金 4,168 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金 4,164 道路改良事業費補助金 2,871 など
15 府支出金	754,157	1,234	755,391	出産・子育て応援交付金 637 不妊治療給付事業助成費補助金 200 など
16 財産収入	12,693		12,693	
17 寄附金	50,163		50,163	
18 繰入金	743,362	20,460	763,822	財政調整基金繰入金 19,000 地域振興基金繰入金 760 地域福祉振興基金繰入金 700
19 繰越金	5,000	21,271	26,271	前年度繰越金
20 諸収入	238,540	14,728	253,268	後期高齢者医療養給付費負担金精算金 10,484 丹後地区土地開発公社精算金 4,244
21 地方債	776,200	4,097	780,297	道路整備事業債 3,500 臨時財政対策債 597
合計	12,135,201	74,255	12,209,456	

【歳出】

(単位：千円)

款	補正前額	今回補正額	補正後額	説明
1 議会費	113,774		113,774	
2 総務費	1,203,039	5,973	1,209,012	人事管理事業1,650 例規関係業務2,074 交通安全対策事950 与謝野町加悦庁舎等管理事業813 など
3 民生費	3,598,143	17,191	3,615,334	子育て世帯生活支援特別給付金事業4,021 キッズステーション事業1,464 令和4年度国庫補助金等の事業完了に伴う返還金8,504 など
4 衛生費	1,117,662	23,043	1,140,705	予防接種事業4,164、令和4年度国庫補助金等の事業完了に伴う返還金16,987、生活排水等処理対策事業1,682、 など
5 労働費	15,128		15,128	
6 農林水産業費	416,599	6,200	422,799	有機物供給施設管理運営事業
7 商工費	515,948		515,948	
8 土木費	1,381,811	4,615	1,386,426	道路新設改良事業7,000、道路維持管理事業▲2,785 など
9 消防費	652,990		652,990	
10 教育費	1,335,305	2,962	1,338,267	学校給食センター管理運営事業2,950 など
11 災害復旧費	1,706	12,488	14,194	農地災害復旧事業、道路橋りょう災害復旧事業 など
12 公債費	1,628,987		1,628,987	
13 諸支出金	142,764	2,100	144,864	総合庁舎建設基金積立金
14 予備費	11,345	▲ 317	11,028	
合計	12,135,201	74,255	12,209,456	

令和5年度与謝野町一般会計9月補正予算（案）主要事業の概要

（単位：千円）

担当課	予算事業名	事業概要	R5.9 要求額	R5現計 予算額	補正後額	予算概要 資料番号
総務課	人事管理事業	令和6年度からの会計年度任用職員への勤勉手当支給開始に伴う制度整備を実施	1,650	6,947	8,597	
総務課	自衛官募集事業	自衛官募集のための看板を作成	30	30	60	
総務課	例規関係業務	押印見直し、機構改革、個人情報保護等の例規整備に伴う例規整備委託料の増額	2,074	2,704	4,778	
会計課	会計管理業務	公金収納データ作成サービス受信システムライセンス購入を実施	105	14,311	14,416	
総務課	与謝野町加悦庁舎等管理事業	空調の故障による緊急修繕を実施	813	19,670	20,483	
総務課	有線テレビ番組制作事業	有線テレビ番組発信力強化のため番組制作の一部委託を実施	91	12,177	12,268	①
総務課	交通安全対策事業	交通安全対策のため町内16箇所のカーブミラー修繕を追加で実施	950	6,772	7,722	②
企画財政課	地域内公共交通確保維持事業	自動車借上料の増額、予約型乗合交通運行事業補助金の減額等	0	18,965	18,965	
住民税務課	税務総務費一般経費	消耗品購入のための増額	149	1,209	1,358	
住民税務課	個人番号業務	パソコンリース料の増額	40	8,714	8,754	
住民税務課	人権啓発事業	多様性を尊重し合う共生社会づくりのため、検討委員会を設置	75	1,421	1,496	③
福祉課	社会福祉総務費一般経費	会計年度任用職員報酬等の増額	1,336	898	2,234	
福祉課	敬老事業	長寿者祝品の増額、消耗品費の減額等	0	3,243	3,243	
福祉課	介護保険特別会計繰出金	介護保険特別会計繰出金（事業勘定）の増額	1,072	431,380	432,452	
子育て応援課	子育て世代包括支援センター事業	不妊治療給付事業助成金等の増額	517	44,717	45,234	
子育て応援課	子育て世帯生活支援特別給付金事業	物価高騰対策 子育て世帯生活支援特別給付金を拡充して積極給付を実施	4,021	6,819	10,840	④
子育て応援課	認定こども園管理運営事業	のだがわこども園冷凍冷蔵庫等の修繕の実施、委託料の減額	▲ 96	221,858	221,762	
子育て応援課	保育所管理運営事業	山田保育所の空調設備の故障による取替の実施	298	63,401	63,699	

担当課	予算事業名	事業概要	R5.9 要求額	R5現計 予算額	補正後額	予算概要 資料番号
子育て 応援課	キッズステーショ ン事業	キッズステーションの実施箇所の増による拡 充	1,464	2,673	4,137	⑤
保健課	予防接種事業	新型コロナウイルスワクチン個別接種促進事 業の実施	4,164	106,274	110,438	⑥
保健課	予防費一般経費	公用車修繕の実施	210	1,534	1,744	
上下水 道課	生活排水等処理対 策事業	浄化槽設置整備事業補助金等の増額	1,682	6,373	8,055	
農林環 境課	有機物供給施設管 理運営事業	設備の劣化による有機物供給施設設備修繕工 事の実施	6,200	39,223	45,423	⑦
農林環 境課	リフレかやの里管 理運営事業	光熱水費の増額、修繕料の減額等	0	11,500	11,500	
建設課	建設発生土処分場 管理事業	豪雨災害による浚渫等で発生する残土処分を 実施	2,000	5,000	7,000	
建設課	道路維持管理事業	道路維持工事の減額	▲ 2,785	55,627	52,842	
建設課	道路新設改良事業	通学路等整備工事費の増額	7,000	48,578	55,578	
建設課	除雪対策事業	小型除雪機整備費の減額	▲ 1,600	54,843	53,243	
学校教 育課	中学校管理運営事 業	コピー機リース料の減額	▲ 208	56,843	56,635	
社会教 育課	古墳公園管理運営 事業	枯れ木の倒木を防止するため伐採を実施	220	8,924	9,144	
給食セ ンター	学校給食センター 管理運営事業	故障による空調設備等の修繕を実施	2,950	130,495	133,445	
農林環 境課	農地災害復旧事業	6月、7月に発生した豪雨被害による災害復 旧工事等を実施	838	1,257	2,095	⑧
農林環 境課	林業用施設災害復 旧事業		500	0	500	
建設課	道路橋りょう災害 復旧事業		5,950	0	5,950	
建設課	河川災害復旧事業		5,200	0	5,200	
令和4年度国庫補助金等の事 業完了に伴う返還金			25,562			
基金積立金費			2,100	512	2,612	
予備費			▲ 317	11,345	11,028	
補正額合計			74,255		-	

① 令和5年度9月補正予算概要資料

(単位：千円)

区分	新規	予算書 ページ	15-16	担当課	総務課	補正予算要求額		財源名称
概要 (予算事業名)	有線テレビ番組の発信力強化 (有線テレビ番組制作事業)					91		
						国費		
総合計画	分野	(分野7) 住民が主人公となるまち				財源	府費	
	基本政策	(基本施策4) 見える、聞こえる、言えるまちづくり					その他	
	分野						起債	
	基本政策						一財	91
						補正後予算額		12,268
予算	款	総務課		項	総務管理費		目	有線テレビ管理費
予算・決算の 状況		R3 決算		R4 決算		R5 当初予算		R5 現計予算
		7,503		8,899		8,791		12,177
背景・経緯		機構改革により総務課秘書広報係が新設されたことに伴い、広報広聴戦略に定める「町広報媒体の発信力の向上」及び更なる戦略の推進体制の強化を図るもの						
補正予算で 追加する理由		速やかな会計年度職員の確保が厳しい現状を踏まえ、新たなYoutube配信動画制作及びCATV番組制作を担える業者に対して業務委託を行うため、現計予算の組替えを行うもの						
事業内容		中事業名		有線テレビ番組制作・放送事業				
		<ul style="list-style-type: none"> ●番組制作等業務委託（総額：411.2万円） <ul style="list-style-type: none"> ①7月から9月までのスポット対応 必要見込額 92.3万円 ②10月以降の番組制作等 必要見込額 318.9万円 ●業務委託経費への組替え（総額：△412.3万円） <ul style="list-style-type: none"> (1)会計年度任用職員報酬 △263.8万円 (2)職員手当 △59.5万円 (3)共済費 △89万円 ●業者選定委員会経費（②の業務選定、委員人選は未定：6.2万円） <ul style="list-style-type: none"> (1)外部委員報償 3,000円×2人×2回（R6年度業者選定分含む） (2)外部委員旅費 (5,150円×2(往復)+2,200円)×2人×2回（京都市内で算出） ●その他 補正経費（宮津天橋高校野球部の試合実績による増額要求：4万円） 取材に係る旅費、交通費等4万円 						
本事業の実施により期待される効果・成果		自主制作番組の質の向上及び制作番組の定期的なYoutube配信の実現						

② 令和5年度9月補正予算概要資料

(単位：千円)

区分	拡充	予算書 ページ	15-16	担当課	総務課 防災危機管理対策室	補正予算要求額		財源名称
概要 (予算事業名)	カーブミラー安全対策の加速化 (交通安全対策事業)					950		
総合計画	分野	(分野6) 美しくて住みやすい安心安全なまち				財源	国費	
	基本政策	(基本施策2) 安心・安全に暮らせる地域づくり					府費	
	分野						その他	
	基本政策						起債	
						一財	950	
						補正後予算額		7,722
予算	款	総務費		項	総務管理費		目	交通安全対策費
予算・決算の 状況		R3 決算		R4 決算		R5 当初予算		R5 現計予算
		6,383		6,746		6,734		6,772
背景・経緯		令和4年度に岩屋地内のカーブミラーが腐食により倒壊する事案が発生し、事故には繋がらなかったものの非常に危険な事案で、これを受け議会でも一般質問があり、全てのカーブミラーの点検と修繕計画に基づく修繕の実施について答弁を行った。過去には業者により数年かけて全てのカーブミラーの点検を実施したが、老朽化が進んでいるものもあると予想され、再度の点検が必要と判断したが、数が多いため各区により点検を依頼し、実施していただいた。業者及び区の点検の結果、「破損等の恐れあり」との判断されたものについて担当課で確認を行い、その中で優先して修繕が必要と判断したのから修繕を進めるよう計画を作成し、順次修繕を進めている。						
補正予算で 追加する理由		修繕計画では、令和5年度に6本、6年度に10本を修繕予定としているが、全て危険な状態であり、また緊急に対応が必要となる事案が複数発生していることから、修繕計画に上げている個所の修繕を前倒し実施できるように予算確保し、事故の事前防止を図りたい。						
事業内容		中事業名		交通安全対策事業				
		町内の交通安全施設の設置や修繕等の実施。 主にカーブミラーの修繕で、老朽化により使用不可、確認困難となったものについて修繕を実施する。 令和5年度については、計画に基づき順次修繕を実施。接触や天候の影響等により破損し緊急的な対応が必要となった箇所は優先して実施を予定。						
								
本事業の実施により期待される効果・成果		町民の交通安全の確保。 岩屋の倒壊以降も、他地区内で倒壊や鏡面が落下する事案があり、事故には繋がらなかったが、現在危険と認識している（修繕を計画している）箇所も、通行中の車両や通学路での児童への被害の可能性があるため、優先して修繕を行うことにより事故を未然に防ぐ						

③ 令和5年度9月補正予算概要資料

(単位：千円)

区分	拡充	予算書 ページ	17-18	担当課	住民税務課	補正予算要求額		財源名称
概要 (予算事業名)	与謝野町多様性を尊重し合う共生社会づくり検討委員会の設置 (人権啓発事業)						75	
総合計画	分野	(分野7) 住民が主人公となるまち				財源	国費	
	基本政策	(基本施策2) みんなが互いに認め合う風土づくり					府費	
	分野						その他	
	基本政策						起債	
						一財	75	
						補正後予算額		1,496
予算	款	民生費		項	社会福祉費		目	社会福祉総務費
予算・決算の 状況		R3 決算		R4 決算		R5 当初予算		R5 現計予算
		940		605		1,421		1,421
背景・経緯		重点施策である社会的弱者対策として、すべての人が互いの多様性を尊重し認め合い、地域社会で安心して暮らすことができる社会の実現に向けた取組みを検討するため「与謝野町多様性を尊重し合う共生社会づくり検討委員会」設置を計画した。						
補正予算で 追加する理由		まず現状把握のための町民アンケートを令和5年9月に実施予定の中、同検討委員会の設置が必要と判断し、同アンケート内容も同検討委員会で精査・分析を行うことが望ましいと判断した。						
事業内容		中事業名	人権啓発事業					
		<p>全ての人が年齢、性別等、国籍、障害の有無等にかかわらず、互いの多様性を尊重し、認め合うことで、地域社会で安心して暮らすことができる社会の実現に向けた取組みを図るもので、今回、「与謝野町多様性を尊重し合う共生社会づくり検討委員会」を設置し、町民アンケートの内容の精査、結果分析、パートナーシップ制度の調査・研究を行い、基本的な考え方や取組みについて検討する。</p> <p>○令和5年度はアンケートの実施と結果分析のため1～2回を実施 ○委員会の委員は学識経験者、関係団体の代表等、福祉課・社会教育課課長</p>						
本事業の実施により期待される効果・成果		多様性を尊重し合いながら、地域社会で安心して暮らすことができる社会の実現に向け、外部委員の客観的な意見を取り入れた取組みを実践することにより、年齢、性別等、国籍、障害の有無等にかかわらず、誰もが心身共に健やかで、個々の能力を発揮し活躍できるとともに、これまで以上に人が人を大切に作る町づくりにつなげることができる。						

④ 令和5年度9月補正予算概要資料

(単位：千円)

区分	拡充	予算書 ページ	19-20	担当課	子育て応援課	補正予算要求額		財源名称	
概要 (予算事業名)	子育て世帯生活支援特別給付金の拡充 (子育て世帯生活支援特別給付金事業)					4,021		子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費補助金・事務費補助金	
						財源	4,019		
総合計画	分野	(分野4) つながりで笑顔を未来につむぐまち			財源	国費	0		
	基本政策	(基本施策2) 親子の笑顔の暮らしを応援				府費	0		
	分野					その他	0		
	基本政策					起債	0		
						一財	2		
						補正後予算額		10,840	
予算	款	03 民生費		項	02 児童福祉費		目	01 児童福祉総務費	
予算・決算の 状況		R3 決算		R4 決算		R5 当初予算		R5 現計予算	
		8,535		5,779		0		6,819	
背景・経緯		<p>子育て世帯生活支援特別給付金は、国が臨時的に創設した低所得の子育て世帯に対する特別給付金で、国の要請に応じ早急に支給するため、当年度4月の第1号補正予算に計上し、令和4年度と同給付金事業対象者に積極支給したが、令和5年度分町民税非課税の児童手当等受給者も市町の判断で積極支給可能という国の方針があらためて示されたため、与謝野町でも積極支給を行う。</p>							
補正予算で 追加する理由		<p>今回、新たに積極支給を行う対象児童が80名を超え(×50,000円給付)、現予算(扶助費)では不足するため。</p>							
事業内容		中事業名	子育て世帯生活支援特別給付金事業						
		<p>食費等の物価高騰に直面した、低所得の子育て世帯(ひとり親世帯を除く)の生活基盤の安定のため、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(児童ひとりあたり50,000円、10/10国庫補助)を支給する。対象者は令和4年度の同事業において給付対象となった方及び家計急変者であるが、家計急変者のうち令和5年度分の町民税非課税者も対象とし積極支給を行う。</p> <p>予算議決後早急に支給案内を行い、10月中には支払完了予定。</p>							
本事業の実施により期待される効果・成果		<p>コロナ禍や世情不安定による物価高騰等により困窮する子育て世帯に対し、より積極的な支援対応ができる。</p>							

⑤ 令和5年度9月補正予算概要資料

(単位：千円)

区分	拡充	予算書 ページ	19-20	担当課	子育て応援課	補正予算要求額		財源名称
概要 (予算事業名)	キッズステーションの拡充 (キッズステーション事業)					1,464		
総合計画	分野	(分野4) つながりで笑顔を未来につむぐまち				財源	国費	
	基本政策	(基本施策3) 地域ぐるみの子育て力の向上					府費	
	分野						その他	
	基本政策						起債	
						一財	1,464	
						補正後予算額		4,137
予算	款	民生費		項	児童福祉費		目	児童福祉施設費
予算・決算の 状況		R3 決算		R4 決算		R5 当初予算		R5 現計予算
		928		2,015		2,400		2,673
背景・経緯		<p>少子化が進む中、子どもたちの健全育成を目的とした地域における、遊び、学習、交流活動など、児童が自由に利用できる安全・安心な居場所を整備し、併せて、公民館、空家など多様な地域資源の活用や、NPO、地域住民等の連携協力などを含め、地域と行政が一体となった子育て支援策の拡充・推進を行う。</p>						
補正予算で 追加する理由		<p>令和4年度実績見合いにより当初予算を計上したが、積極的な推進を行う中で、今年度から事業拡充となる団体や新規実施の団体が増え、予算が不足するため。</p>						
事業内容		中事業名		キッズステーション事業				
		<p>小学生を対象とした地域における安心・安全な、遊び場、交流の場となる居場所を整備し、地域、団体等の運営により子育て支援事業を実施する。</p> <p>下記ステーションが稼働中</p> <p>岩屋キッズステーション（学校休暇期間 見守り） 後野キッズステーション（毎週水曜 英会話教室） アドキッズステーション（月1回 体験型） キッズステーションにこちゃん（毎週月・水 見守り）拡充 幾地キッズステーション（学校休暇期間 見守り）拡充 キッズステーションひより（毎週月～金 見守り）拡充 温江キッズステーション（毎週月～金 見守り）新規 四辻キッズステーション（学校休暇期間 見守り）新規</p>						
本事業の実施により期待される効果・成果		<p>行政の事業として、手が届かない部分について、民間の発想を期待し、子育て支援を通じた地域の活性化を、それぞれの考えのもとで実施している。</p> <p>学童保育事業、地域の自然を利用した体験事業、英会話教室等、それぞれ異なる分野での事業展開ではあるが、地域における「こどもの居場所」としての役割は一定果たしているものと認識している。</p> <p>公民館、空家など地域資源の活用による地域活性化、防犯面での効果、また地域の事業者や中・高生との連携等、事業へのプラス要素が生まれつつある。</p>						



⑥ 令和5年度9月補正予算概要資料

(単位：千円)

区分	新規	予算書 ページ	19-20	担当課	保健課	補正予算要求額		財源名称	
概要 (予算事業名)	新型コロナウイルスワクチン個別接種促進事業の実施 (予防接種事業)					4,164		新型コロナウイルスワクチン接種体制 確保事業費補助金	
						国費	4,164		
総合計画	分野	(分野3) みんなが自分らしく幸せに生きるまち				財源	府費	0	
	基本政策	(基本施策2) 元気な体づくりの推進					その他	0	
	分野						起債	0	
	基本政策						一財	0	
							補正後予算額	110,438	
予算	款	衛生費		項	保健衛生費		目	予防費	
予算・決算の 状況		R3 決算		R4 決算		R5 当初予算		R5 現計予算	
		188,420		148,687		49,762		106,274	
背景・経緯		新型コロナウイルスワクチンの接種促進につなげるため、一定数以上の接種を行った個別医療機関を支援する事業。 令和4年度までは都道府県分事業であったが、国が令和5年度より市町村分事業(請求先が京都府から医療機関が存在する市町村に変更)とした。							
補正予算で 追加する理由		事業の詳細(対象期間、単価等)が判明した時期が6月補正以降であったため、9月補正予算で追加することとなった。							
事業内容		中事業名		新型コロナウイルスワクチン接種事業					
		時間外、夜間又は休日にかかる接種体制を用意している医療機関であって、週100回以上の接種を、令和5年5月1日から7月2日、7月3日から8月31日のそれぞれの期間中に4週間以上行った場合、週100回以上の接種をした週における接種回数に対して回数当たり2,000円の報償費を支払う。							
本事業の実施により期待される効果・成果		特別な体制(時間外、夜間)を組み個別接種を実施している個別医療機関を支援することができる。また、新型コロナウイルスワクチン接種の促進にもつながる。							

⑦ 令和5年度9月補正予算概要資料

(単位：千円)

区分	-	予算書 ページ	21-22	担当課	農林環境課	補正予算要求額	財源名称	
概要 (予算事業名)	有機物供給施設設備修繕工事の実施 (有機物供給施設管理運営事業)					6,200		
総合計画	分野	(分野1) 一人ひとりが個性を生かし安心して働けるまち				財源	国費	
	基本政策	(基本施策2) 農林業の振興					府費	
	分野						その他	
	基本政策						起債	
						一財	6,200	
						補正後予算額	45,423	
予算	款	農林水産業費		項	農業費	目	農業施設管理費	
予算・決算の 状況		R3 決算		R4 決算		R5 当初予算		
		33,214		40,275		39,037		
						R5 現計予算		
						39,223		
背景・経緯	有機物供給施設の肥料生産設備の一つである中間受槽（クッカー〔乾燥・真空装置〕で処理した粉体の肥料を回転する羽で攪拌しながら冷却する設備）が経年の摩耗と腐食により、底に亀裂（穴）が開いており、4月中旬以降、応急処置により亀裂を塞ぎながら運転している状況となっている。亀裂の拡大を防ぐためクッカーから中間受槽に肥料を移す際、通常2回に分けて移す工程を、設備に掛る負荷を軽減するために現在は10回ほどの小分けで移しており、約5倍の作業量を要するためその間専従の人員を配置しなければならず、施設運営と肥料生産に支障が生じている。							
補正予算で追加する理由	当初予算編成時には見込めない修繕のため							
事業内容	中事業名	有機物供給施設管理運営事業						
	底板とともに劣化が認められる天板も合わせて鉄素材からステンレス素材に変更する取替修繕工事を実施する。							
								
	有機物供給施設		修繕工事箇所					
本事業の実施により期待される効果・成果	当町の特色ある農業振興施策の中心である自然循環農業の推進には有機質肥料「京の豆っこ」の安定供給が欠かせず、現状を放置すれば該当箇所の破損が進行し、肥料生産が滞る可能性が高く農業振興施策の停滞につながるため、修繕を行うことにより、肥料の安定生産を再開することで、引き続き自然循環農業の推進を図ることが可能となる。							

⑧ 令和5年度9月補正予算概要資料

(単位：千円)

区分	-	予算書 ページ	23-26	担当課	農林環境課 建設課	補正予算要求額		財源名称
概要 (予算事業名)	災害復旧事業 (①農地災害復旧事業 ②林業用施設災害復旧事業 ③道路橋りょう災害復旧事業 ④河川災害復旧事業)					12,488		
	総合計画	分野				財源	国費	
基本政策					府費			
分野					その他			
基本政策					起債			
						一財	12,488	
						補正後予算額		13,745
予算	款	災害復旧費		項	①農林水産施設災害復旧費 ②公共土木施設災害復旧費	目	①農地災害復旧費 ②林業用施設災害復旧費 ③道路橋りょう災害復旧費 ④河川災害復旧費	
予算・決算の 状況		R3 決算		R4 決算		R5 当初予算		R5 現計予算
		1,650		25,803		0		1,257
背景・経緯		<p>6月29日～30日、7月13日～14日に発生した集中豪雨により、農地、林道、道路、河川で小規模な災害が多発したため、その復旧を行う。</p> <p>【令和5年6月29日～30日豪雨：最大雨量】 堂谷橋観測所：1時間最大 17mm/h (6/29 17:00～18:00) 24時間最大 27mm/日 (6/29 17:00～6/30 17:00) 滝観測所：1時間最大 62mm/h (6/29 16:30～17:30) 24時間最大 74mm/日 (6/29 17:00～6/30 17:00)</p> <p>【令和5年7月13日～14日豪雨：最大雨量】 堂谷橋観測所：1時間最大 36mm/h (7/13 17:30～18:30) 24時間最大 106mm/日 (7/13 5:00～7/14 5:00) 滝観測所：1時間最大 34mm/h (7/13 17:50～18:50) 24時間最大 100mm/日 (7/13 6:00～7/14 6:00)</p>						
補正予算で 追加する理由		突発的な災害への対応であり、補正予算に追加して実施する。						
事業内容		中事業名		①農地災害復旧事業 ②林業用施設災害復旧事業 ③土木施設災害復旧事業【道路】 ④土木施設災害復旧事業【河川】				
		①農地災害復旧事業 農地2か所の災害復旧 83.8万円 ②林業用施設災害復旧事業 林道1か所の災害復旧 50.0万円 ③土木施設災害復旧事業【道路】 町道7か所の陥没修繕、法面崩壊修繕、側溝修繕等 275.0万円 町道8か所の側溝浚渫等 160.0万円 町道2か所の災害復旧工事 160.0万円 ④土木施設災害復旧事業【河川】 準用河川、水路6か所の陥没修繕、護岸修繕 305.0万円 水路・沈砂枳10箇所の浚渫 215.0万円						
本事業の実施により期待される効果・成果								



令和 4 年度 決算概要



与謝野町

与謝野町令和4年度決算概要

令和4年度の一般会計・特別会計・公営企業会計の決算について、9月定例会（9月1日開会）に提出し、議会の認定に付すものです。

一般会計の歳入決算額は、前年度から9.1%減の122億883万円となり、翌年度への繰越財源分を差し引いた純繰越額（実質収支）は、5,254万円の黒字となりました。

■一般会計

会計	歳入	歳出	翌年度に繰越すべき財源	実質収支
一般会計	122億883万円	121億2,660万円	2,968万円	5,254万円

■特別会計

会計	歳入	歳出	翌年度に繰越すべき財源	実質収支	
宅地造成事業会計	431万円	431万円	0万円	0万円	
下水道会計	15億7,173万円	15億7,094万円	20万円	59万円	
農業集落排水会計	3,035万円	3,034万円	0万円	1万円	
介護保険会計	（事業勘定）	29億58万円	28億9,255万円	0万円	802万円
	（サービス勘定）	1,270万円	1,112万円	0万円	158万円
土地取得会計	38万円	5万円	0万円	33万円	
国民健康保険会計	（事業勘定）	23億2,714万円	23億1,614万円	0万円	1,100万円
	（直診勘定）	8,261万円	8,261万円	0万円	0万円
後期高齢者医療会計	3億5,186万円	3億4,784万円	0万円	402万円	
財産区会計	1億7,330万円	8,550万円	0万円	8,779万円	

※端数整理のため表内計等が一致しないものがあります。

■公営企業会計（水道事業会計）

	収益的収入	収益的支出	損益計算により
収益的収入及び支出	7億9,118万円	7億4,307万円	6,630万円

	資本的収入	資本的支出	不足額
資本的収入及び支出	1億7,657万円	4億1,564万円	▲2億3,907万円

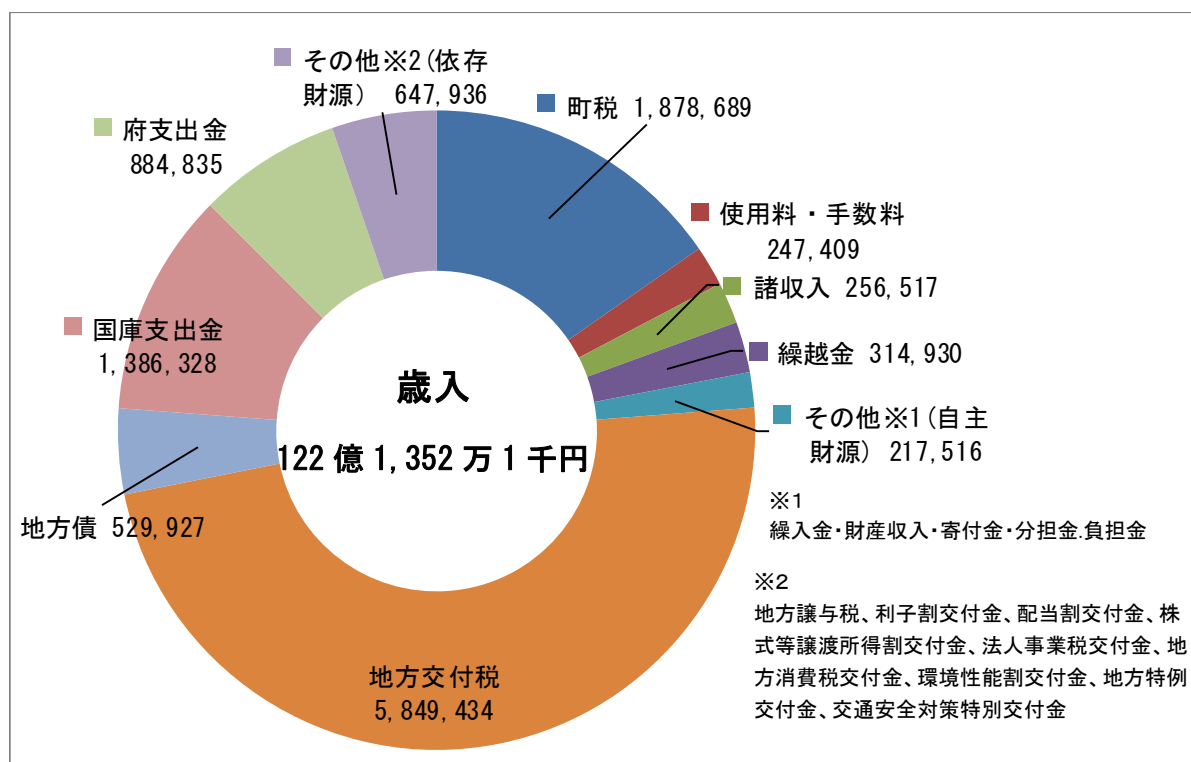
※資本的収支不足額は、過年度分損益勘定留保資金及び消費税資本的収支調整額で補填しています。

歳入・歳出決算の状況を、地方財政統計上、統一的に用いられる普通会計によりグラフ化し説明します。

※普通会計：一般会計、宅地造成事業特別会計、土地取得特別会計を純計したものです。

歳入（町に入ったお金）の状況：普通会計

■歳入の構成（単位：千円）



	項目	令和4年度 決算額 (千円)	令和3年度 決算額 (千円)	前年度比較 (千円)	増減率 (%)
自主財源 (23.9%)	町税	1,878,689	1,806,462	72,227	4.0
	使用料・手数料	247,409	255,942	▲8,533	▲3.3
	諸収入	256,517	266,019	▲9,502	▲3.6
	繰越金	314,930	206,393	108,537	52.6
	その他(自主財源)※1	217,516	130,717	▲86,799	▲66.4
依存財源 (76.1%)	地方交付税	5,849,434	5,966,471	▲117,037	▲2.0
	地方債	529,927	1,307,400	▲777,473	▲59.5
	国庫支出金	1,386,328	1,999,807	▲613,479	▲30.7
	府支出金	884,835	813,935	70,900	8.7
	その他(依存財源)※2	647,936	680,406	▲32,470	▲4.8
合計		12,213,521	13,433,552	1,220,031	▲9.1

※端数整理のため表内計等が一致しないものがあります。

■歳入決算状況

歳入の全体の状況を見てみると、令和4年度の普通会計歳入総額は122億1,352万1千円となり、前年度と比較し12億2,003万1千円（▲9.1%）減となっています。

町税は、新型コロナウイルス感染症の影響が回復の兆しを見せ、所得割（現年分）が1,100万2千円の増、法人税割（現年分）が1,206万8千円の増、固定資産税（現年分、交付金除く）は、令和3年度に新型コロナウイルス感染症緊急経済対策の一環として、事業用家屋及び償却資産に係る固定資産税の軽減措置を実施したため、前年度から3,673万3千円の増となるなど、町税全体で7,222万7千円の増となりました。町税の徴収率については、町税全体で97.4%となっており、前年度と比較し0.4%増となっています。

国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が減となったこと等が要因となり、6億1,347万9千円（▲30.7%）の減額となりました。

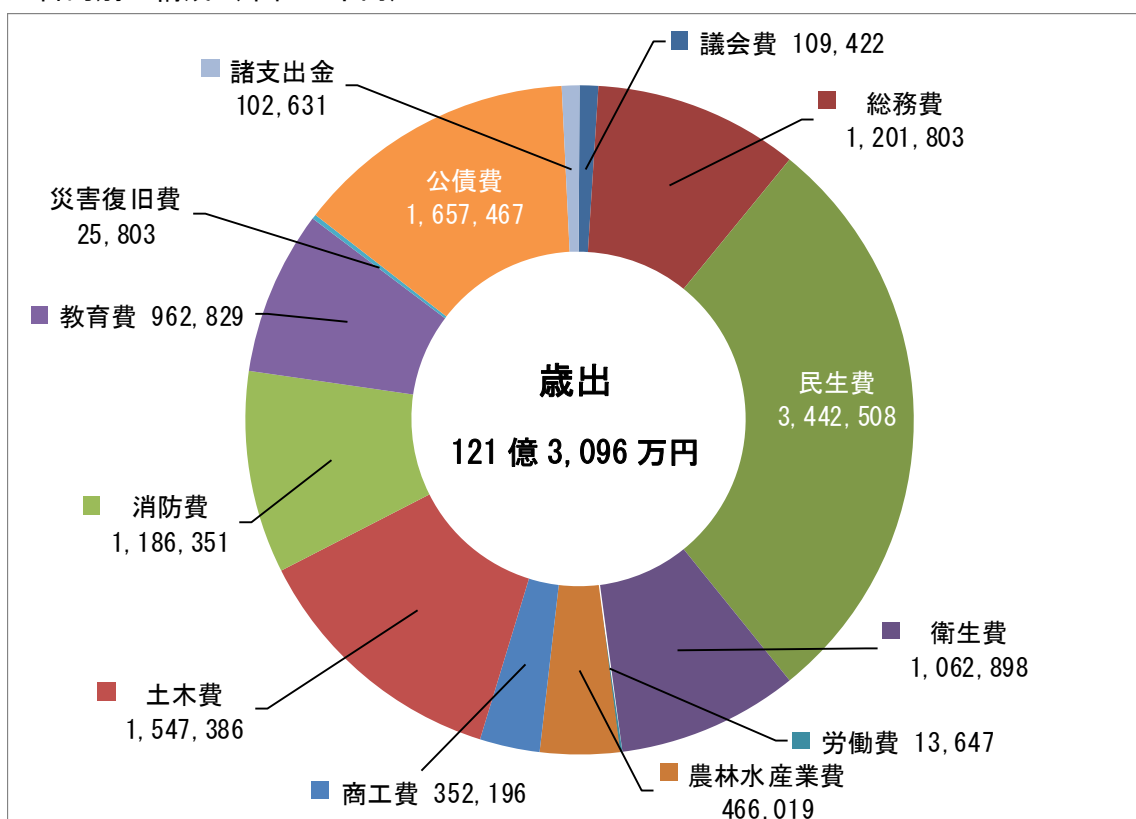
普通交付税については、前年度に限り「臨時経済対策費」が創設され、基準財政需要額に算入されたこと等があったため、前年度から6,872万8千円（▲1.3%）減額となりました。

繰入金は、前年度に引き続き財政調整基金繰入金の繰入金はありませんでした。地域振興基金を7,610万円繰入れる等、前年比7,108万1千円（513.4%）増となっています。

町債（町の借金）については、こども園施設整備事業債が大幅に減額するなど、前年度から7億7,747万3千円（▲59.5%）の減となりました。なお、令和4年度の町債の発行額は5億2,992万7千円で、合併後最も少額となっています。

歳出（町が使ったお金）の状況：普通会計

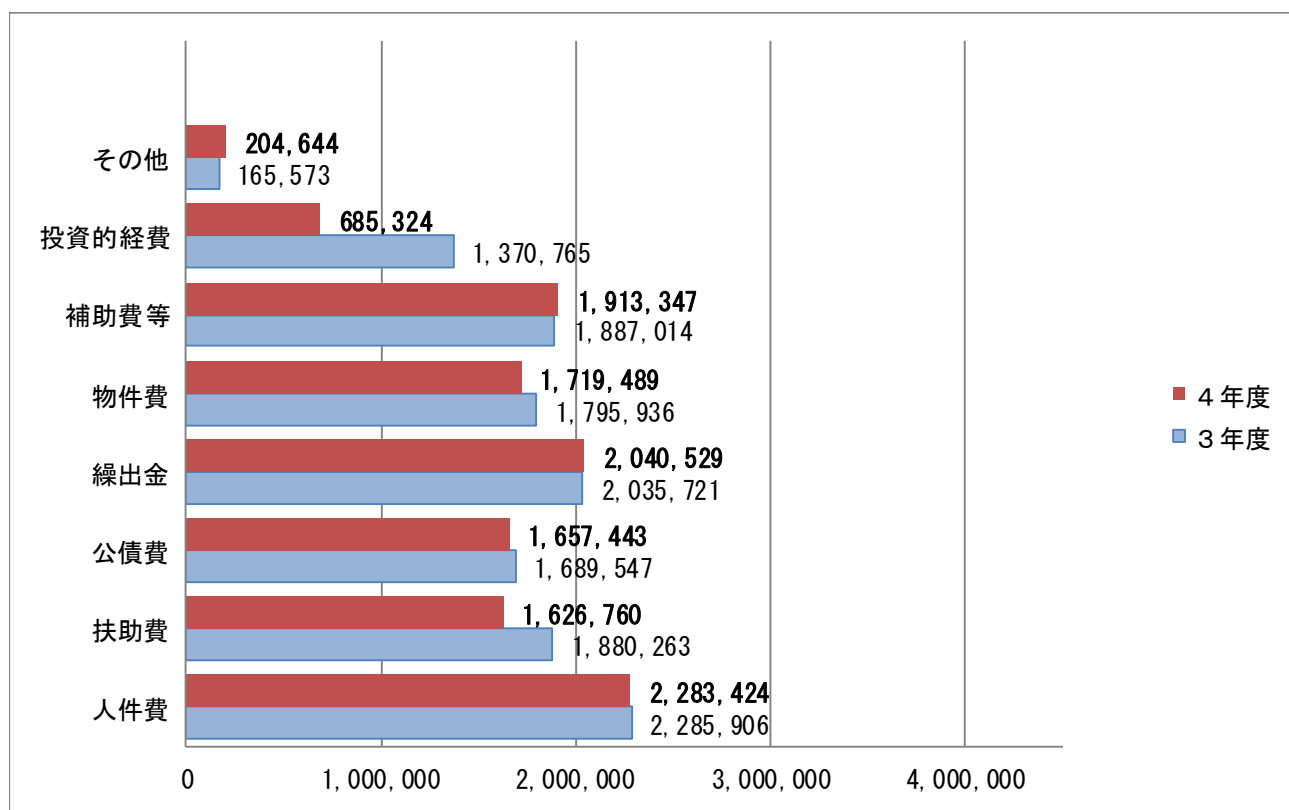
■目的別の構成（単位：千円）



※端数整理のため表内計が一致しないものがあります。

項目	令和4年度決算額 (千円)	令和3年度決算額 (千円)	前年度比較 (千円)	増減率(%)
議会費	109,422	107,678	1,744	1.6
総務費	1,201,803	1,105,450	96,353	8.7
民生費	3,442,508	4,301,674	▲859,166	▲20.0
衛生費	1,062,898	1,099,700	▲36,802	▲3.3
労働費	13,647	16,229	▲2,582	▲15.9
農林水産業費	466,019	401,686	64,333	16.0
商工費	352,196	317,716	34,480	10.9
土木費	1,547,386	1,541,216	6,170	0.4
消防費	1,186,351	1,476,457	▲290,106	▲19.6
教育費	962,829	946,323	16,506	1.7
災害復旧費	25,803	1,650	24,153	1,463.8
公債費	1,657,467	1,689,639	▲32,172	▲1.9
諸支出金	102,631	105,307	▲2,676	▲2.5
合計	12,130,960	13,110,725	▲979,765	▲7.5

■性質別の前年度比較（単位：千円）



項目		金額（千円）	構成比（%）	増減率（%）	内容
義務的経費	人件費	2,283,424	18.8	▲ 0.1	職員給与・議員報酬・会計年度任用職員報酬、共済費など
	扶助費	1,626,760	13.4	▲ 13.5	児童手当、障害者自立支援給付費・老人ホーム入所措置費など
	公債費	1,657,443	13.7	▲ 1.9	町債の元利償還金
繰出金		2,040,529	16.8	0.2	下水道・介護保険・国民健康保険などの特別会計への繰出金
物件費		1,719,489	14.2	▲ 4.3	旅費・備品購入費・委託料・消耗品費など
補助費等		1,913,347	15.8	1.4	宮津与謝消防組合等一部事務組合への負担金、地方バス路線運行維持支援、コロナ関係補助金・交付金、各種団体への補助金など
投資的経費		685,324	5.6	▲ 50.0	河川改修事業、学童保育施設整備事業、農地等保全対策事業等
その他		204,644	1.7	23.6	貸付金、基金への積立金、維持補修費
合計		12,130,960	100.0	▲ 7.5	

※端数整理のため表内計が一致しないものがあります。

■歳出決算状況

歳出総額は、121億3,096万円となり、前年度と比較し9億7,976万5千円（▲7.5%）の減となりました。

人件費は、消防団員報酬の減等により、前年度に比べ248万2千円（▲0.1%）の減となりました。

補助費等については、新型コロナウイルス感染症対応住宅新築改修等補助金が皆減となったものの、事業者経費高騰緊急支援交付金が皆増となったこと等から、総額で2,633万3千円（1.4%）の増となりました。

投資的経費においては、学童保育施設整備事業、河川改修事業、農地等保全対策事業等を実施しましたが、認定こども園施設整備事業が大幅に減額となったため、総額で7億959万4千円（▲51.8%）の減となりました。

公債費は、総額で3,210万4千円の減（▲1.9%）となりました。

令4年度は、歳入では普通交付税が減額したものの財政調整基金の繰入れはなく、地域振興基金を7,610万円繰入れましたが、一方で公共施設整備基金に8,146万8千円を積み立て、将来負担に備えることができました。ただし、普通交付税に依存する財政基盤であるため、今後も厳しい状況は続くものと考えており、持続可能な行財政経営を目指すため、事務事業評価をはじめとする行財政改革を進めていくとともに、「与謝野町公共施設等総合管理計画（実施計画）」に掲げる公共施設の長寿命化・複合化・集約化・廃止等の合理化を図るとともに、与謝野町財政計画に基づき、地方債発行抑制や歳出抑制を図る必要があります。

■令和4年度に行った主な事業

第2次与謝野町総合計画に掲げるまちづくりの基本目標に基づき、令和4年度は以下の事業に取り組みました。

一人ひとりが個性を生かして安心して働けるまち

・自然循環型農業推進事業	9,238千円	
・農業生産支援事業	12,519千円	
・農地保全推進事業	121,653千円	
・産業振興事業	6,025千円	
・織物振興対策事業	21,072千円	

地元を誇りに想い、人の流れを生むまち

・観光地域づくり支援事業	21,326千円	
・移住定住支援事業	14,070千円	

みんなが自分らしく幸せに生きるまち

・介護人材育成・確保支援事業	846千円	
・生活困窮者等支援事業	1,116千円	くらしとしごとの支援ネットワーク事業

つながりで笑顔を未来につむぐまち

・生活困窮者等支援事業	1,266 千円	生活困窮家庭学習支援事業
・病児保育所管理運営事業	3,437 千円	
・認定こども園施設整備事業	3,905 千円	
・子育て世代包括支援センター事業	27,612 千円	
・キッズステーション事業	2,015 千円	
・小規模保育事業	23,692 千円	

魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち

・文化財保護事業	49,156 千円	
・社会教育推進事業	72 千円	イングリッシュキャンプ [®] 実行委員会補助金
・高校魅力化推進事業	8,335 千円	

美しく住みやすい安心安全なまち

・広域ごみ処理運営事業	193,814 千円	宮津与謝環境組合負担金
・環境活動推進事業	1,730 千円	
・常備消防組合負担金	398,045 千円	宮津与謝消防組合負担金
・消防施設等整備事業	34,035 千円	
・道路新設改良事業	114,799 千円	
・河川改修事業	137,252 千円	
・災害復旧事業	25,803 千円	

住民が主人公となるまち

・地域協働推進事業	11,067 千円	(コミュニティ支援事業)
・自治組織支援事業	17,349 千円	
・行政マネジメント推進事業	2,096 千円	
・よさのみらい大学事業	3,547 千円	

新型コロナウイルス感染症対策事業関連経費

合計 7億2,527万円（令和3年度：11億2,306万5千円）を支出

①令和3年度事業分（令和3年度から令和4年度へ繰越して実施）

施策	決算額	内 容
1. 感染防止対策	3,106千円	衛生用品整備、乳幼児健診感染防止対策
2. 住民生活維持支援	102,423千円	住民生活商品券事業、自宅療養者等支援
3. 子育て・学習環境構築	16,190千円	小・中学校感染拡大防止対策・学習保障、修学旅行支援、こども園・保育所遊び場充実、文化芸術による児童生徒育成
4. 事業継続支援	73,381千円	雇用安定支援、町内事業者への経済対策
5. その他新型コロナウイルス対策関連事業	42,911千円	住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業

②令和4年度事業分

施策	決算額	内 容
1. 生活者支援	228,354千円	子育て世帯生活支援特別給付金、与謝野町子育て家庭臨時支援金、学校給食費の負担軽減
2. 事業者支援	176,392千円	事業者に対する電力・ガス・燃料費等への支援、緊急融資利子補給補助金、農林業者に対する支援、交通事業者に対する支援
3. その他新型コロナウイルス対策関連事業	82,513千円	新型コロナウイルスワクチン接種事業、小・中学校感染拡大防止対策、自宅療養者支援、PCR検査費用補助金

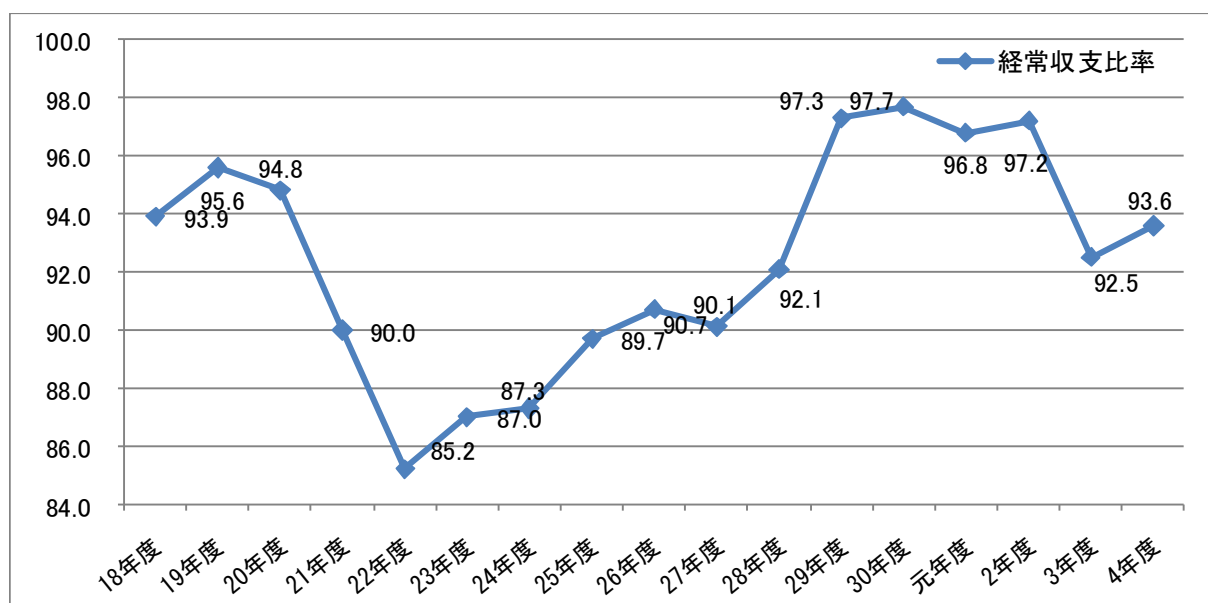
経常収支比率と財政力指数の状況：普通会計

■経常収支比率

経常収支比率とは財政構造の弾力性を判断するための指標で、町税、交付税のように使途が特定されず毎年度経常的に収入される財源（経常一般財源）のうち人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常経費）に充当されたものの占める割合です。

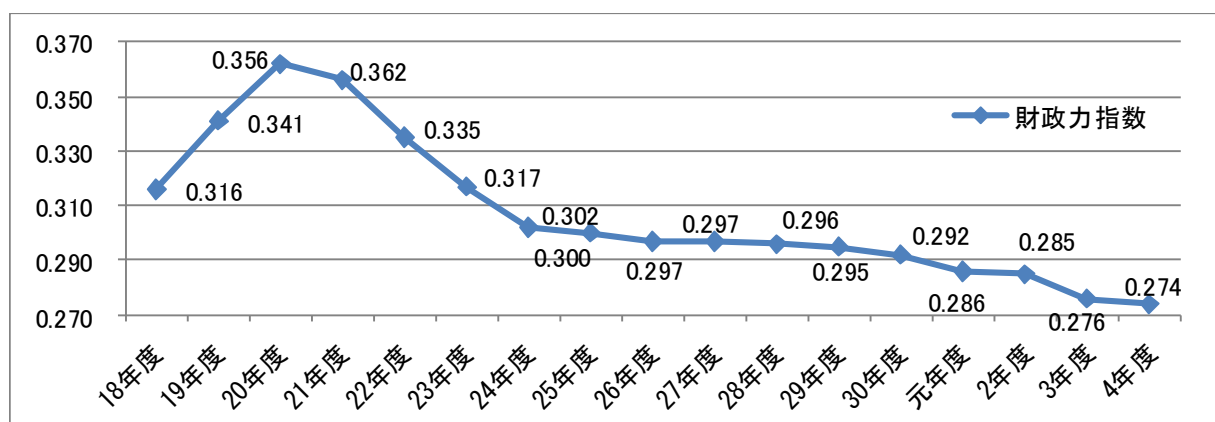
80%を超えると弾力性を失いつつあると考えられています。

単位：%



■財政力指数

財政力指数は地方公共団体の財政力を示す指数として用います。財政力指数が高いほど自主財源の割合が高いことを示し、財源に余裕があることとなります。財政力指数が単年で1を超える場合には、自立して財政運営できることを示し、普通交付税の不交付団体となります。



財政健全化判断比率、資金不足比率の状況

■財政健全化法

まちの財政が健全であるかは、平成21年4月から本格施行となった「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に定められた指標により判断しています。

まちの決算額から算定したいずれかの指標が、「早期健全化基準（経営健全化基準）」を超えると、財政健全化計画（経営健全化計画）を策定することが義務付けられ、議会の議決を経て自主的な改善努力による健全化が求められます。

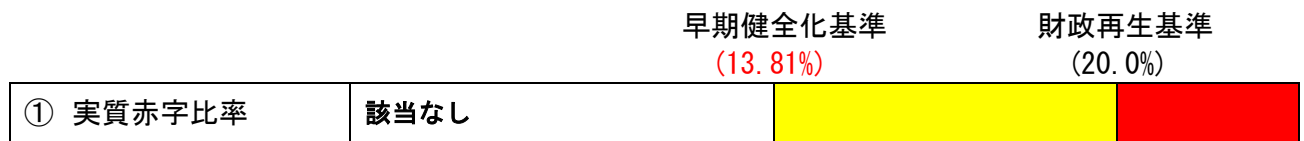
また、いずれかの指標が、「財政再生基準」を超えると、「財政再建団体」となり、国の管理により財政再生に向けて取り組まなければならなくなり、行政サービスの維持が困難になる恐れがあります。

■令和4年度の財政健全化判断比率、資金不足比率

令和4年度の財政健全化判断比率（①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、（3カ年平均）④将来負担比率）及び、資金不足比率は、いずれの数値も早期健全化基準内となりました。

現時点では、健全な財政運営と言えますが、今後更に厳しい財政状況が想定されることから、今後も公債費の上昇を抑制するため、財政計画に基づき、起債発行額を年間10億円規模に抑制し、健全な財政運営に努めていく必要があります。

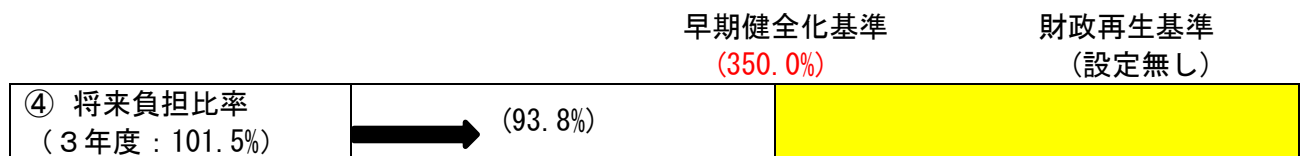
<財政健全化比率>



※実質赤字比率は、赤字でない限り比率が無いものとされる。



※連結実質赤字比率は、赤字でない限り比率が無いものとされる。



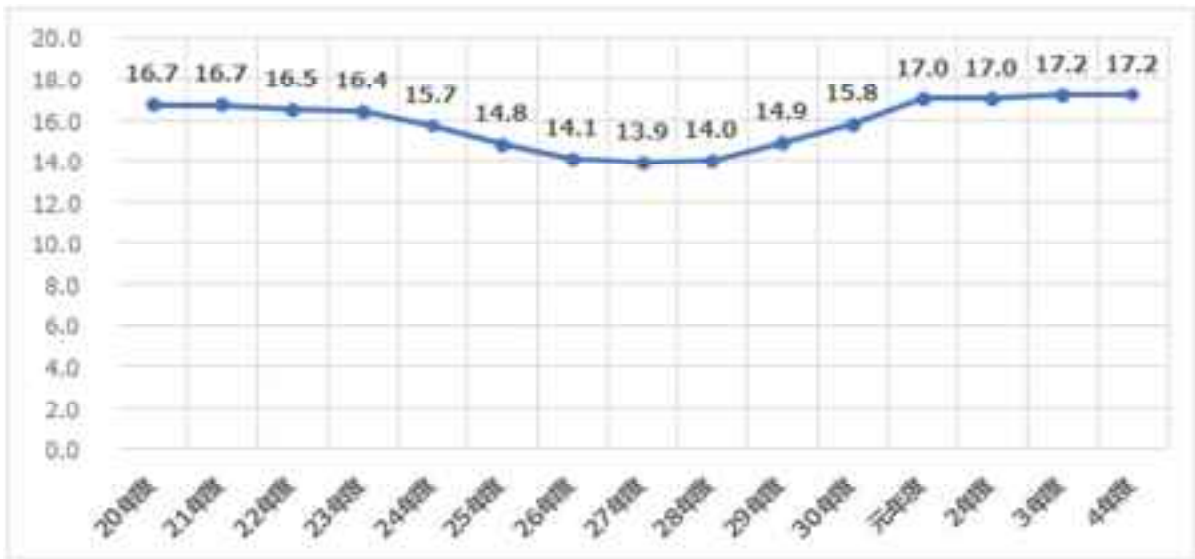
<資金不足比率>

経営健全化基準
(20.00%)

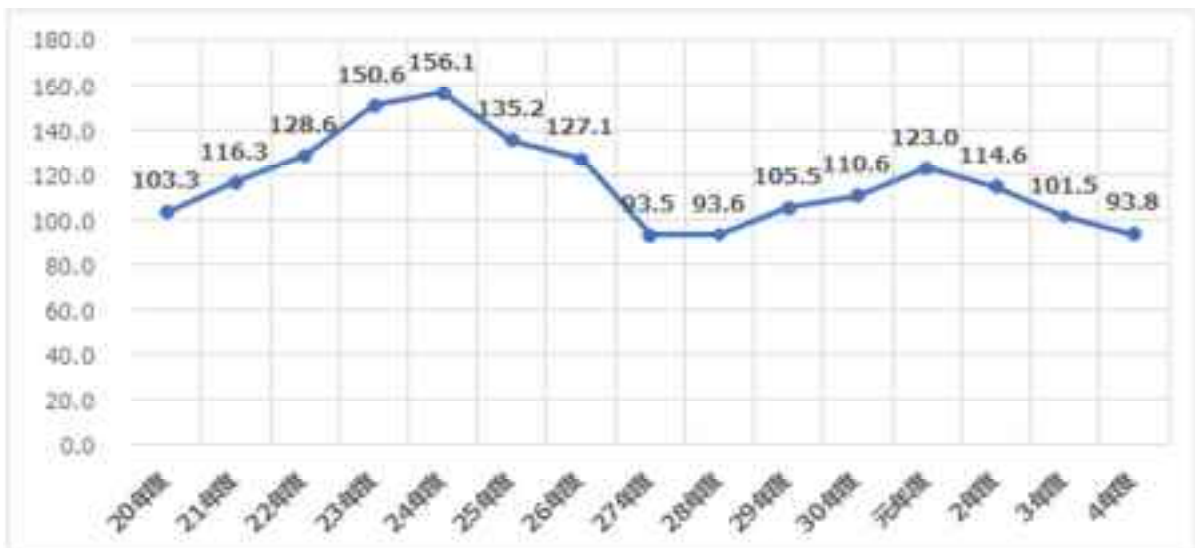
資金不足比率	水道事業会計	該当なし	
	下水道特別会計	該当なし	
	農業集落排水特別会計	該当なし	

※資金不足比率は、資金不足額が発生しない限り比率がないものとされる。

◆実質公債費比率の推移



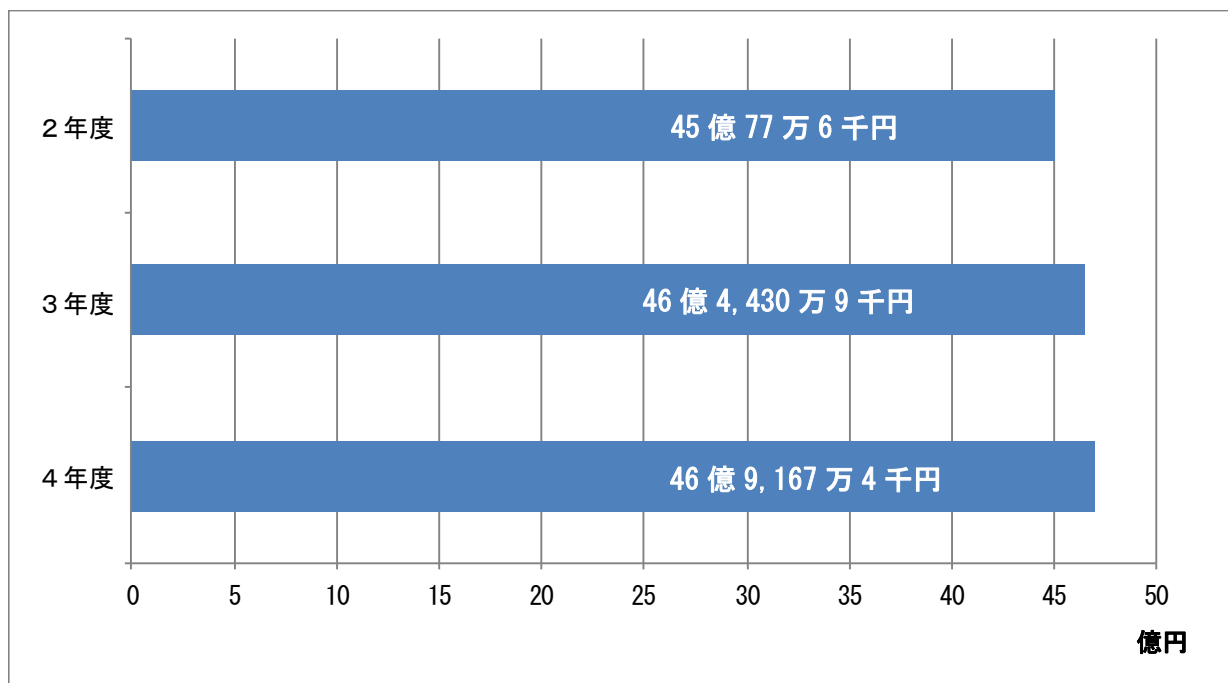
◆将来負担比率の推移



町の基金（貯金）と町債（借金）

■基金残高の推移（3年度から4,736万5千円の増額）

・グラフは、財政調整基金、減債基金、特定目的基金、特別会計基金残高総額の推移



■各基金残高の前年度比較（単位：千円）

基金名	4年度末残高	3年度末残高	増減率 (%)
財政調整基金	1,618,200	1,609,635	0.5
減債基金	89,744	89,707	0.0
特定目的基金	2,594,418	2,581,385	0.5
特別会計基金	389,311	363,583	7.1
計	4,691,674	4,644,309	1.0

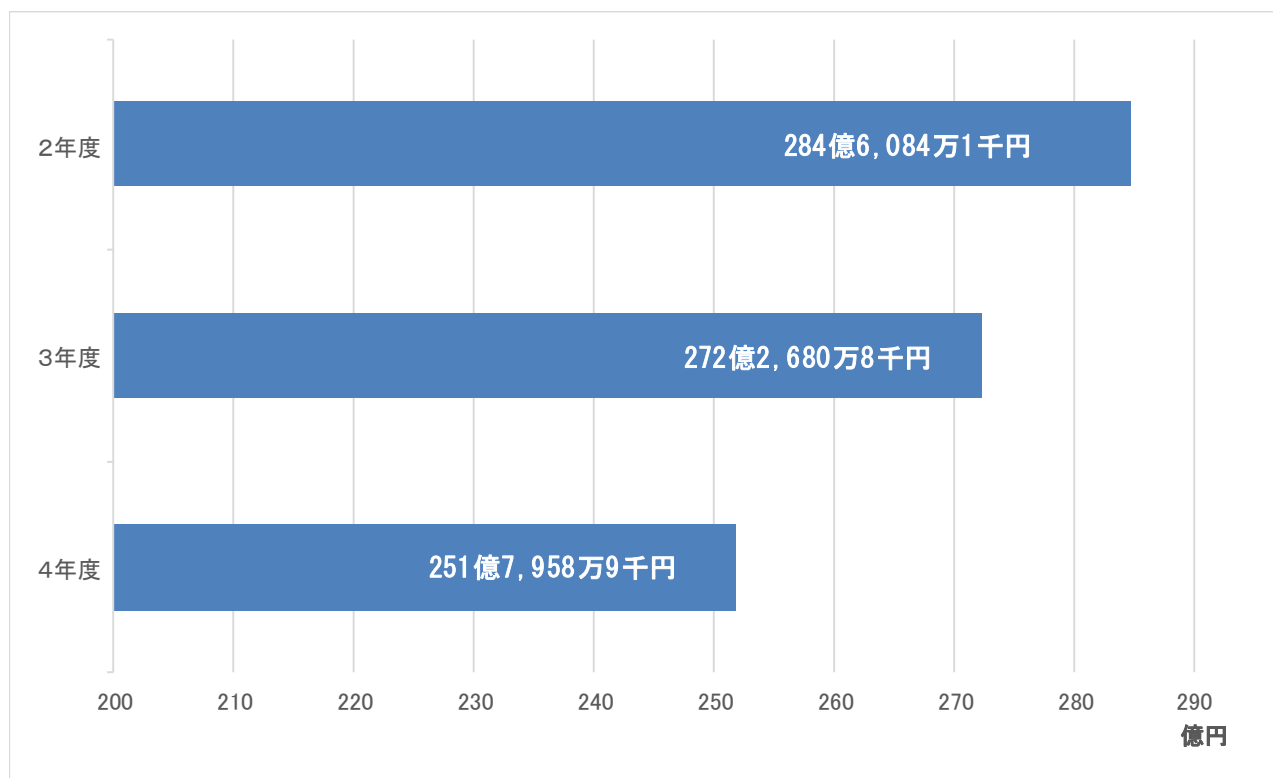
※端数整理のため表内計が一致しないものがあります。

■令和4年度主な基金の増減（単位：千円）

基金名	基金増減額	基金名	基金増減額
地域振興基金	▲74,399	公共施設建設整備基金	81,468
国保会計財政調整基金	▲4,359	介護保険事業基金	30,072
新型コロナウイルス対応緊急融資 利子補助事業基金	▲2,561	財政調整基金	8,565

■町債残高の推移（3年度から20億4,721万9千円の減額）

・グラフは、一般会計、特別会計、公営企業会計の町債残高総額の推移



■各会計の町債残高の前年度比較

会計	内訳	4年度末残高 (千円)	3年度末残高 (千円)	増減率 (%)
一般会計	合併特例債	4,456,121	5,040,950	▲11.6%
	臨時財政対策債	4,024,154	4,350,799	▲7.5%
	その他事業債	4,669,054	4,831,396	▲3.4%
	一般会計合計	13,149,329	14,223,145	▲7.5%
特別会計	下水道特別会計	7,021,411	7,609,696	▲7.7%
	農業集落排水特別会計	144,397	161,037	▲10.3%
企業会計	水道事業会計	4,864,451	5,232,930	▲7.0%
合計		25,179,589	27,226,808	▲7.5%



令和 5 年 8 月 2 4 日
与 謝 野 町

**協働のまちづくり指針（仮称）の策定に向けた取組について
～本年度から、地域（町民）と行政との本格的な対話をスタート～**

与謝野町では、地域（町民）と行政が力を合わせて課題解決や地域の魅力向上を目指し、多様な主体による協働のまちづくりを推進しています。

本年度から、本町が目指す協働のあり方、協働のまちづくり推進のための取り組みにかかる対話を始めます。

1. 対話のスケジュール（予定を含む）

第 1 回	よさのみらい大学地域づくり学部とコラボ開催 場所：知遊館	令和 5 年 8 月 2 6 日（土）	午後 2 時～
第 2 回	指針策定に向けた対話・意見交流会① 場所：中央公民館	9 月 2 1 日（木）	午後 7 時～
第 3 回	指針策定に向けた対話・意見交流会② 場所：加悦地域公民館	1 0 月 6 日（金）	午後 7 時～
第 4 回	指針策定に向けた対話・意見交流会③ 場所：中央公民館	1 0 月 2 7 日（金）	午後 7 時～
第 5 回	指針策定に向けた対話・意見交流会④ 場所：元気館	1 1 月 1 9 日（日）	午後 2 時～

2. 参加者（予定を含む）

自治会関係者、公民館関係者、
地域福祉関係者、農業者団体関係者、
町民、行政等

※参加想定数：20人程度／回

<R5.2.26_協働のまちづくり調査事業 事業報告会の様子>



3. その他

協働のまちづくり指針（仮称）案 説明・意見交換会の開催予定 【令和 6 年 1 月下旬】

問い合わせ先

企画財政課 地域協働係

担当：井上

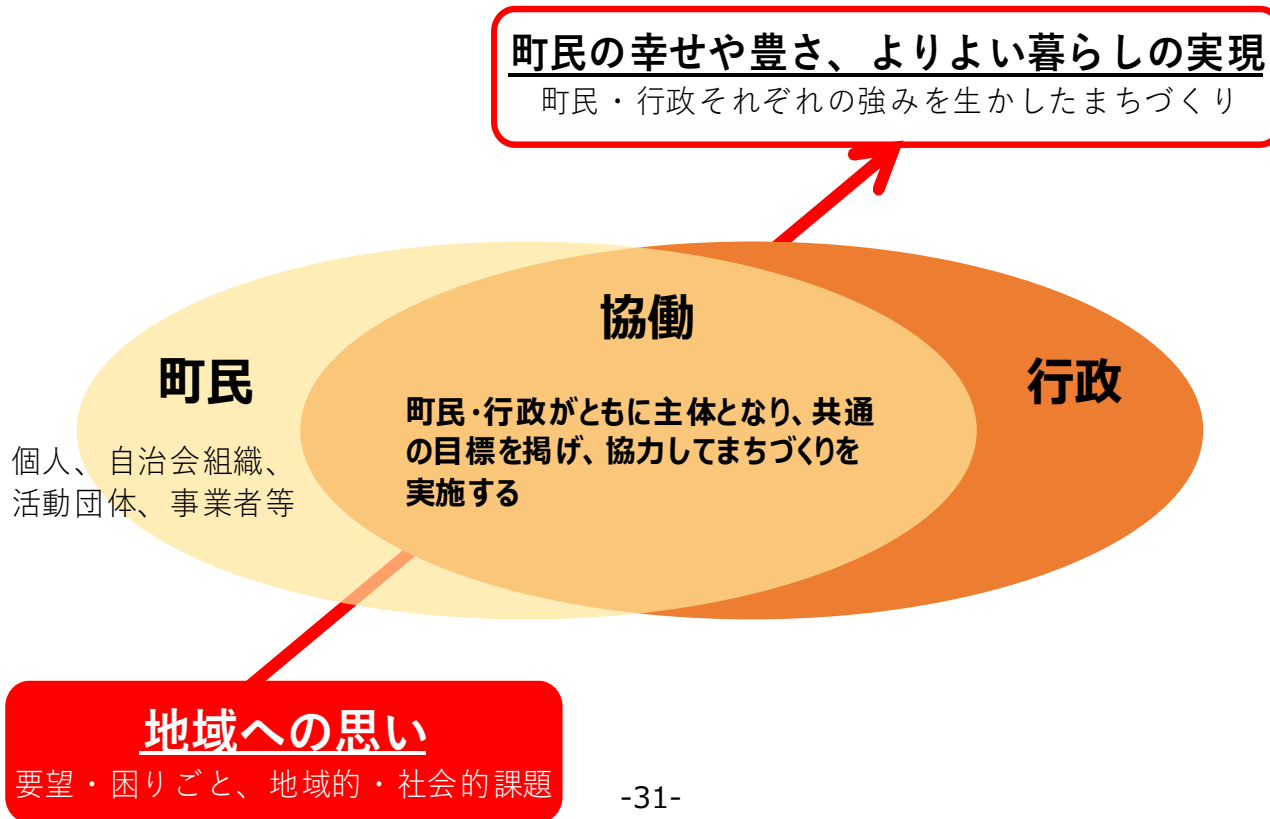
電話：0772-43-9015

協働のまちづくり指針（仮称） の策定に向けた取組について ～本格的な対話を始める前に～

令和5年8月
与謝野町企画財政課

協働のまちづくり指針（仮称）の策定

- 与謝野町における地域（町民）が目指す「協働のまちづくり」の姿について、**地域（町民）と行政の対話の場**から方向性を見出し、地域（町民）と行政の共通の指針として共有



令和2～4年度の調査事業（振り返り）その1

○ 4区の事業成果と調査事業の取組成果と令和5年度の展開

区	取り組みの方向性	取組成果	令和5年度～
金屋区	<ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館が老若男女問わず憩いの場となり、公民館からいろんな事が発信できる場に。 	<ul style="list-style-type: none"> ・金屋公民館へ行こう！の実施 地区公民館の地域活性化拠点としての実証事業の実施 ▶ 子どもから大人までが「公民館に集まる」きっかけづくりに ・金屋区ホームページ（よさのみらいトーク内）の開設 区や公民館、団体等のさまざまな情報を発信 ▶ 区内の情報をまとめて発信できるように 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館での取組としてスタート（金屋地域づくり部会の設置） ・ホームページからの情報発信
三河内区	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内の人間関係を豊かにし地域社会に役立つ人材を育成 ・地域に積極的にかかわりを持って様々な組織での活躍に期待 	<ul style="list-style-type: none"> ・三河内未来塾の設立 地域の未来を考える持続可能な組織として設立。 ▶ 次世代の地域人材を育成。20～40代が地域を考える意識づくりに。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館事業として実施
岩屋区	<ul style="list-style-type: none"> ・100年後（3世代先）も豊かで安心・安全な暮らしが繋がる地域を目指す。 ・地域課題の改善・解決に向けた既存の取り組みを尊重し、具体的な実践を通して地域づくりを推進。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみを拾って岩屋ぐるり旅の実施 「誰でも気軽に参加し楽しみながらできる地域貢献」として実施 ▶ 次代を担う人づくり、多世代交流、できることを実践 ・デジタル回覧板（LINE活用）の実証事業の実施 「ペーパーレス化」「役員の負担軽減」等の課題解決策として実施 ▶ 地域のデジタル活用の可能性を模索。 	<ul style="list-style-type: none"> ・LINEを活用したデジタル回覧板の本格運用スタート
四辻区	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情や時代に即した自治会組織の体制整備 ・区、区民、区内各種団体がそれぞれの役割により、地域課題へ取り組める持続可能な区の運営、自治会活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・区の規約改正 区の理念と活動内容を明記 ▶ 自治会活動への理解促進に ・空家調査の実施 空き家状況マップを作成 ▶ 区内の現状・予測の可視化 ・積極的な情報発信 Facebookの活用、区公式HPの開設、四辻区だよりの発行 ▶ 区内活動の見える化、自治会加入、参画の促進に 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な情報発信

令和2～4年度の調査事業（振り返り）その2

○ 4区の事業成果と調査事業から見えてきた課題と地域協働の方向性

(1) 調査事業や地域活動で見えてきた課題	(2) 課題解決に必要なこと	(3) 持続可能な地域づくりに必要なこと	(4) 持続可能な地域づくり推進に向けた取組の方向性
<p>①自治組織、地域コミュニティを支える要素等の維持・継承</p> <p>②知恵と行動力を学ぶ機会の必要性</p> <p>③地域活動、地域活性化のための拠点</p> <p>④当事者意識、女性視点</p>	<p>①町内会間の交流、多世代間の意見交換、学び合える組織や場</p> <p>②自治会、公民館等組織のあり方検討</p>	<p>①人材、財源の確保</p> <p>②地域を学ぶ機会</p> <p>③団体、組織、他の地域等との連携・協力</p> <p>④町民みんなで与謝野町の目指すべき方向性を考えること</p>	<p>①地区、地域等への伴走支援</p> <p>②他地域との継続的な意見・情報交流の場づくり</p> <p>③地域住民と行政の公平な協力体制</p> <p>④住民アイデアのブラッシュアップ</p> <p>⑤ビジョンの検討</p>

令和5年度の自治区への組織業務調査（中間報告）

【24区長等へのヒアリングより（6月12日～6月30日）】

1 自治会活動（公民館活動を含む）の継続性とあり方

- 各自治会（区）で「自主防災体制」、「清掃活動」、「地域コミュニティ（夏祭り等）」は自治会が主導している。
- 祭事（岩滝祭り・加悦谷祭り・曳山祭り）に、自治会（区）の関わり方は様々、地域のコミュニティ醸成の役割が大きく継続していきたい。
- 地区公民館での活動（岩滝地域の連合区所属4区以外）は、様々な地域でのコミュニティ活動の中核的な役割を担っている中で、地区公民館の利用しやすい環境づくりも視野に入れてはどうか。
※特に女性参画が積極的な自治会（区）は活動も活発

2 持続可能な運営に向けて

（1）地域人財（人財）・担い手の確保

少子高齢化や人口減少の進行、働き方の多様化は、担い手不足等自治会（区）運営への影響はあるが、現時点では深刻な状況ではない。※「役」という意識から「楽しんで地域ごとに関わることへの意識付けて、将来を見据えた後継者育成に取り組む自治区あり

（2）多様な主体による運営

自治会（区）が全てを担うことは現在の区の組織体制では厳しい。既存の自治会（区）の枠組みではなく、自主的な地域づくり任意団体や地元事業者との連携が必要ではないか。

また、課題解決に向けた他の自治区等との機能的な連携も視野に入れてはどうか。

ロードマップ（後期総合計画期間）

令和5年度

令和6年度

令和7年度

令和8年度

協働まちづく指針
初版策定

地域（町民）と行政の**対話**による課題整理・協働の推進

指針に基づいた取組・実証事業等の実施

協働まちづく指針の点検
（対話を通じて必要に応じて年次改定）

（総合計画の改定作業）
併せて指針の見直し

対話の範囲（イメージ図）

対話の範囲

【協働のまちづくり指針】

自治会
活動・運営

公民館
活動・運営

地域文化
活動・運営

令和5年度スケジュール（策定までのロードマップ）

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

第1回
区長会

第2回
区長会

第3回
区長会

地域（町民）と行政の対話の場

組織業務調査
（区業務・公民館）

第2回～第5回
進め方調整

指針案の
説明会

第1回
みらい大学



庁内調整会議 → 協働まちづくり指針（仮称）作成PT



地域協働関連事業調査
（棚卸・洗い出し）

指針案パブコメ

議会説明・報告

協働まちづくり指針
の策定（年度内）

地域と行政の対話【9月～11月】の進め方

【対話の進め方】

9月

10月

11月

2回目

3回目

4回目

5回目

地域と行政の
課題整理
(対応方向の確認)

協働のまちづくりの姿
(考え方、地域と行政の役割
分担等の検討)

協働まちづくり
推進方策等
の確認

【参加想定機関等】

区長連絡協議会、公民館運営協議会、社会福祉協議会、農村RMO活用団体、住民、行政 等

【参加想定人数】

20人程度/回



令和 5 年 8 月 2 4 日
与 謝 野 町

【令和 5 年度新規事業（広聴事業）】
「与謝野町の持続可能な公共交通体系の実現に向けて
～交通事業者や地域、みんなで協力して支え合う交通体系を考える～」
について意見交換します
～山添町長とみんな・みらい・みえるトーク（第 3 回）～

「与謝野町の持続可能な公共交通体系の実現に向けて～交通事業者や地域、みんなで協力して支え合う交通体系を考える～」をテーマに、山添町長が、これまでから本町の公共交通を担っていただいている交通事業者をはじめ、令和 5 年 10 月 2 日（月）から開始するデマンド交通の運行を担う地域運営協議会、商工事業者、配車予約システム運営事業者の方と町長で意見交換を行い、今後の公共交通施策の推進につなげていくことを目的に、第 3 回山添町長とみんな・みらい・みえるトークを行いますので、是非ご取材をお願いします。

1. 日時

令和 5 年 9 月 5 日（水）午後 6 時～7 時

※ 取材ありの場合は、意見交換（収録）終了後に個別取材の時間を設けさせていただきます。

※ 取材いただける場合は、お手数ですが事前に担当者までご連絡ください。

2. 場所

温江地区公民館（住所：与謝野町字温江 1 3 3 番地 5）

3. トークゲスト（予定） ※敬称略

■西村良久（にしむら よしひさ）（地域運営協議会／桑飼地区支え合い交通運営協議会）

■木村順一（きむら じゅんいち）（商工事業者／協同組合加悦谷ショッピングセンター）

■林 忠広（はやし ただひろ）（バス事業者／丹後海陸交通株式会社）

■川本康博（かわもと やすひろ）（タクシー事業者／日本交通株式会社）

■末廣将志（すえひろ まさし）（配車予約システム運営会社／SWAT Mobility Japan 株式会社）

4. 内容

交通事業者や地域運営協議会、商工事業者、配車予約システム運営事業者の方をゲストにお招きし、「与謝野町の持続可能な公共交通体系の実現に向けて～交通事業者や地域、みんなで協力して支え合う交通体系を考える～」について、パネルディスカッション方式で意見交換を行います。


意見交換①【みんな】10月2日（月）から新たにデマンド交通（予約型乗合交通）の実証運行開始

意見交換②【みえる】乗って守ろうみんなの公共交通～与謝野町地域公共交通の現状と課題～

意見交換③【みらい】人口減少社会や少子高齢化の進展を見据えた新たな公共交通モデルとは

Press Release

報道各社 御中

 令和5年8月24日
与謝野町

5. タイムスケジュール

当日のスケジュール	概要
18時00分～18時03分【3分】	本対談企画の趣旨説明【オープニング】
18時03分～18時10分【7分】	自己紹介（1分程度）×5名
18時10分～18時50分【40分】	3つのテーマにより、意見交換
18時50分～19時00分【10分】	本対談企画の総括（お互いに1言ずつ）【クローズド】

6. その他

｜山添町長とみんな・みらい・みえるトークとは

与謝野町では、山添町長と、町民の皆さんや町にゆかりのある方などが直接お話しし、伺った意見等を町政に反映させることを目的に、総合計画に掲げる「教育・スポーツ・文化、観光・交流・移住定住、子ども・子育て、健康・福祉、産業・仕事、環境・暮らし、地域協働」の分野について、本町の現状や未来に対して「みんな」・「みらい」・「みえる」の3つの「み」をトークテーマとして、山添町長が現場に行き、車座方式や対談方式で現場の声を町政に活かす場として定期的に開催しています。

｜前回（第2回）の様子



>>与謝野町公式 YouTube ページ

https://www.youtube.com/channel/UCP7smZk4cc6qFf6Ag_kmZQ

問い合わせ先

与謝野町役場総務課 秘書広報係

担当：園田

電話：0772-43-9010

Press Release

報道各社 御中



令和 5 年 8 月 2 4 日
与 謝 野 町

与謝野町インターンシップ「ヨサノクエスト」を 大学生と協働で実施します

与謝野町では、与謝野町人材育成基本方針に基づく人材の持続的な確保や関係人口の創出を目的に、8月30日（水）から9月2日（土）までの期間、与謝野町インターンシップ「ヨサノクエスト」を3名の大学生と協働で企画・実施しますので、お知らせします。

1. 実施期間

令和5年8月30日（水）～9月2日（土）

2. 参加者

11名（ヨサクエ4DAYs編 5名、ヨサクエ1DAY編 6名）



3. 実施内容


【ヨサノクエストのポイント】

- 当事者である大学生と協働で企画することで、大学生ニーズを踏まえたプログラムを考案
- クエストやクイズ感覚で地域や人と交流することで、楽しくまちを知ってもらう仕掛け
- 役場で働く職員のキャリアや職場の仕事を一緒に体験することで、働くイメージづくり
- 参加者の目的やスケジュールに合わせた4DAYs編と1DAY編の2パターンによる実施

■ヨサクエ4DAYs編プログラム

日程	内容	実施場所
【1日目】 8月30日（水）	午前11時 開会式 午後1時 オリエンテーション （チーム分け・目標設定） 午後3時 庁舎見学 （町役場3庁舎・こども園・与謝野駅）	岩滝保健センター
【2日目】 8月31日（木）	午前9時 ヨサノクエスト（フィールドワーク①） ～地域と人を知るクエスト型まち歩き～ 午後2時 ヨサノクエスト（フィールドワーク②） ～地域と人を知るクエスト型まち歩き～	ちりめん街道周辺 道の駅「シルクのまちかや」周辺
【3日目】 9月1日（金）	午前9時30分 役場業務の説明 午前10時00分 キャリアセミナー （担当職員のキャリア紹介） 午後1時00分 職場体験 （担当課ごとに業務体験）	産業創出交流センター 役場本庁舎 役場加悦庁舎
【4日目】 9月2日（土）	午前9時00分 グループワーク（作業） 午後1時00分 発表・町長講評 午後1時30分 町長との意見交換 午後2時30分 閉会式 午後3時00分 全体振り返り 午後3時30分 解散	岩滝保健センター

Press Release 報道各社 御中


 令和5年8月24日
 与謝野町

■ヨサクエ1DAY編プログラム

日程	内容	実施場所	
1日目 9月2日(土)	午前 11時15分	開会式	岩滝保健センター
	午前 11時30分	町の概要・役場の仕事について	
	午後 1時00分	ヨサクエ4DAYs編発表会を傍聴	
	午後 1時30分	町長との意見交換	
	午後 2時30分	役場の職員について	
	午後 3時00分	採用試験案内・質疑応答	
	午後 3時30分	解散	

※ 本プログラムの内容は、変更になる可能性がありますのでご承知おきください。

※ 本事業は与謝野町とまちの人事企画室が共同で事務局を設置し、企画・運営を行っています。



問い合わせ先

総務課 人事・庶務係
 担当：芦田、安達、永井
 電話：0772-43-9010



令和 5 年 8 月 2 4 日
与 謝 野 町



よさのみらい大学・リベラルアーツコースを開催します
～第 1 回目講座を 9 月 3 0 日（土）に開催～

与謝野町では、平成 2 9 年度から町をキャンパスに「新しいモノやコトの発見」「出会いと交流」を通じて、「自分・地域・まち」の未来を描き、主体的に行動する人財を育成する学び舎として、「よさのみらい大学」を設置しています。

つきましては、以下のとおりリベラルアーツコースの第 1 回目となる講座を開催しますのでお知らせします。

- 1. 日時** 令和 5 年 9 月 3 0 日（土）午後 2 時～
- 2. 会場** 与謝野町立岩滝保健センター 2 階 会議室
（与謝野町字岩滝 2 0 4 6 番地）
- 3. 講座** リベラルアーツコース 講座
「認知症予防の心理学—幸福な老いを目指して」
若者と同じように認知力の高い年配者がいる一方で、早々に認知症になってしまう人がいます。この違いは何が原因で起こっているのでしょうか。心理学的な知見から認知症予防を考えてみましょう。
- 4. 講師** 京都女子大学 発達教育学部心理学科 教授・博士
岩原 昭彦（いわはら あきひこ）氏
- 5. 受講料** 無料
- 6. 申し込み・問い合わせ先** 一般社団法人 プレイス（業務受託業者）
メール：info@place-design.jp
- 7. その他** よさのみらい大学では、リベラルアーツコース、地域づくり学部、ビジネス学部の 3 コースを設置し、それぞれに特色のある講座を開講しています。他講座については、よさのみらい大学ホームページにて順次公開していきます。

【取材・問い合わせ先】

社会教育課 社会教育係

担当：谷原

電話：0 7 7 2 - 4 3 - 9 0 2 6



講
料
無
受

リベラルアーツコース
講座

認知症予防の心理学

— 幸福な老いを目指して

9月30日

(土曜日)

14:00-15:30

(受付 13:30 ~)

当日参加も可能です

場所：岩滝保健センター2階会議室
与謝野町岩滝 2046 番地

京都女子大学
発達教育学部心理学科
教授・博士

岩原 昭彦 氏

講師 PROFILE

2002年名古屋大学博士後期 人間情報情報学研究科単位取得満期退学、博士（心理学／名古屋大学）。
樟蔭東女子短期大学専任講師、助教授を経て、2009年に和歌山県立医科大学保健看護学部准教授。
現在京都女子大学 発達教育学部心理学科 教授、博士。

メール

申し込み
問い合わせ

info@place-design.jp

24時間受付

リベラルアーツ

誰もが気軽に参加し、幅広く質の高い教養の
形成につながる概ね大学講義レベルの講座

地域づくり学部

地域の関係人口創出・担い手不足解消に向けた講座や
女性や若者の地域活動への参加を促す講座を展開する

ビジネス学部

女性の仕事・働き方にフォーカスを当てた講座
地域経済分析報告書を学ぶことを目的とした講座



令和 5 年 8 月 2 4 日
与 謝 野 町

「シーサイド・オレンジ・あそ 合同イベント」を開催します ～認知症啓発事業イベント（9月は世界アルツハイマー月間）～

与謝野町では、「認知症になってもならなくても、自分らしく幸せに暮らせるまち与謝野町」を目指し、認知症施策に取り組んでいます。

今回、世界アルツハイマー月間に合わせて、与謝野町認知症地域支援推進員を中心に、岩滝長寿会（シーサイドサロンあそ）とタイアップした地域住民を巻き込んだ認知症啓発事業を開催します。

1. 日時

令和5年9月23日（土・祝）午前10時～11時

※雨天延期の場合は、10月14日（土）午前10時～11時

2. 場所

阿蘇シーサイドパーク 管理棟周辺

3. タイムスケジュール（令和5年9月23日開催の場合）

時間	内容
午前10時00分	開会（岩滝長寿会会長挨拶）
午前10時05分	認知症カフェの事業所発表（みんなのうち加悦奥・ふれあいホーム神宮寺・岩滝あじさい苑ひより） ※5分×3事業所
午前10時20分	認知症に対するメッセージを書いたまめっこまいちゃんのマント作り紹介
午前10時25分	G P Sを用いた検索ゲーム
午前11時00分	閉会（与謝野町福祉課課長あいさつ）
その他	岩滝長寿会とのタイアップ ・普段されているシーサイドサロンあその出店 ※午前10時～午後1時 福祉用具業者による展示ブース

4. 主催・後援・対象者

主催：与謝野町地域支援推進員、岩滝長寿会（シーサイドサロンあそ）

後援：丹後保健所、与謝野町内認知症カフェ事業所、オレンジロードつなげ隊

株式会社三笑堂、与謝野町地域包括支援センター

対象者：与謝野町民

Press Release

報道各社 御中



令和 5 年 8 月 2 4 日
与 謝 野 町

5. 備考

雨天等により、令和 5 年 10 月 14 日（土）に延期になった場合は、与謝野町地域支援推進員を中心とした単独イベントを行います（内容は同様、岩滝長寿会のイベントはありません）。

6. その他

｜認知症カフェとは

認知症の人とその家族が自分らしさを発揮し、社会と関わりをもてる場所であるとともに、情報交換や共感し合い、心が安らぐ場所として運営されるカフェです。

町内 10 事業所、12 ヲ所で開催されています。

- ・認知症なんでも相談カフェうえもり【グループホームふれあい】
- ・みんなのうちサロン、わかばサロン【みんなのうち加悦奥】
- ・シルクカフェ【与謝の園】
- ・なごみカフェ【ジェイズ】
- ・あわしまサロン、いしかわサロン【ふれあいホーム神宮寺】
- ・ふれ愛サロン【グループホームよさの】
- ・喫茶 茶ぼーと【サポートい輪や】
- ・いわたきサロン【ユメライフはしだて】
- ・ひよりカフェ【岩滝あじさい苑ひより】
- ・オレンジひまわりの会【オレンジひまわりの会】



｜世界アルツハイマーデー／アルツハイマー月間とは

世界アルツハイマーデー（9月21日）は、世界保健機関（WHO）と国際アルツハイマー病協会（ADI）が認知症への理解を促し、ご本人やご家族への支援の充実を目的として 1994 年に制定しました。

2012 年からは 9 月が「世界アルツハイマー月間」と定められ、世界各国で認知症への啓発活動が行われています。

今年の世界アルツハイマーデーが制定されて 30 回目を迎えます。



■ロゴマーク出典

公益社団法人 認知症の人と家族の会ホームページより

問い合わせ先

福祉課 地域包括支援センター係
担当：小西、今田
電話：0772-43-9021

シーサイド サロンあそ



9月23日(第4土曜日)

とき 午前10時～午後1時開催

ところ あそシーサイドパーク
管理棟付近

イベント 10時00分～11時00分

シーサイド・オレンジ・あそ (認知症啓発イベント)



- ・認知症カフェってどんなところ？
- ・GPS を使って検索ゲーム
- ・まめっこまいちゃんのマント作り
- ・福祉用具の展示ブース



いろいろなコーナー設定！！

- ・健康相談コーナー
- ・輪投げ・ホールインワンコーナー
- ・喫茶・うどん・寿司、干物、野菜
フリマコーナー等も設定。

募集中！！

運営スタッフ募集

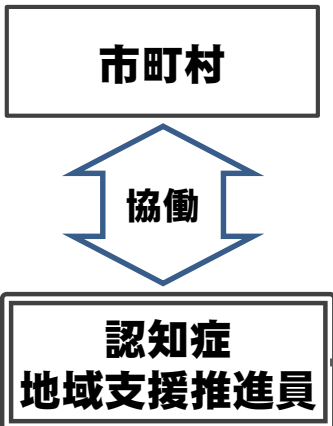
シーサイドサロンを一緒になって運営をしていく仲間を募集しています。皆さん一緒にやりましょう。

マルシェ参加募集

シーサイドサロンではマルシェに参加していただく方も求めています。

認知症地域支援推進員とは

認知症の人にその人の状態に応じた適切なサービスが提供されるように医療・介護・地域サービスの連携支援を行う者を指し、市町村において平成30年4月までに設置が義務づけ



- 【推進員の要件】
- ①認知症の医療や介護の専門的知識及び経験を有する医師、保健師、看護師、作業療法士、歯科衛生士、精神保健福祉士、社会福祉士、介護福祉士
 - ②①以外で認知症の医療や介護の専門的知識及び経験を有すると市町村が認めた者

- 【配置先】
- 地域包括支援センター
 - 市町村本庁
 - など

医療・介護等の支援ネットワーク構築

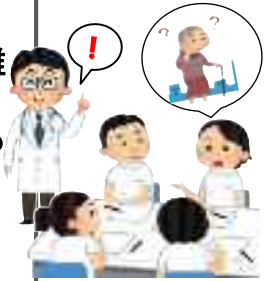
- 認知症の人が認知症の容態に応じて必要な医療や介護等のサービスを受けられるよう関係機関との連携体制の構築
- 市町村等との協力による、認知症ケアパス（状態に応じた適切な医療や介護サービス等の提供の流れ）の作成・普及 等



認知症対応力向上のための支援

※関係機関等と連携し以下の事業の企画・調整を行う

- 認知症疾患医療センターの専門医等による、病院・施設等における処遇困難事例の検討及び個別支援
- 介護保険施設等の相談員による、在宅で生活する認知症の人や家族に対する効果的な介護方法などの専門的な相談支援
- 「認知症カフェ」等の開設
- 認知症ライフサポート研修など認知症多職種協働研修の実施
- 社会参加活動のための体制整備
 - ・市町村が適当と認めた者による農業、商品の製造・販売、食堂の運営、地域活動等の社会参加に対する支援
 - ・専門家を派遣する等、利用者に対する技術・専門知識の指導・助言
 - ・マルシェ等イベントの開催支援
- 認知症の人と家族への一体的支援の推進



相談支援・支援体制構築

- 認知症の人や家族等への相談支援
- 「認知症初期集中支援チーム」との連携等による必要なサービスが認知症の人や家族に提供されるための調整

